

令和2年度 茅ヶ崎北陵高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上 (公務外非行防止、 職員行動指針の周知 徹底)	個人としての生活時間帯における 不祥事や県民の不信を招く行為等 の原因について教職員一人ひとり が自覚するとともに認識を深め、 教育公務員として「法令遵守」意 識を高めることにより非行を未然 に防止する。	不祥事防止研修会等で職員啓発資料等を 活用し、教育公務員としての自覚を喚起 することができ、不祥事はなかった。
職場のハラスメント (パワハラ、セクハ ラ、マタハラ等)の 防止	職場のハラスメントを未然に防止 する。	令和2年8月、令和3年3月にハラスメン トの防止について資料を配付し、一人ひと りの職員が主体的に考えるよう指導した。
生徒に対するわいせ つ・セクハラ行為の 防止	生徒に対するわいせつ・セクハラ を未然に防止する。	校長面談時に「セクハラ、わいせつ行為の 防止」についてのリーフレットを配付 し、一人ひとりの職員が主体的に考えるよ う指導した。
体罰、不適切な指導 の防止	体罰、不適切な指導の発生を未然 に防止する。	令和2年8月「体罰、不適切な指導の防 止」について、研修し理解を深め、職員が 主体的に考えるよう指導した。
・入学者選抜にお ける事故防止 ・成績処理に係る 事故防止 ・進路関係書類の 作成及び取扱いに 係る事故防止	・神奈川県高等学校入学者選抜 (以下「入学者選抜」という。)の 確実性及び信頼性を高めるため、 入学者選抜における採点及び 点検業務について検討を行うとと もに、現行の採点及び点検業務に ついて検証し、確実に入学者選抜 を実施するための方策を策定す る。 ・成績処理にあたっては成績処理 マニュアルに基づき、教務手帳へ の転記、成績処理支援システ ムへの入力・確認を複数によるチ ェック体制を確立し、ミスを未然 に防止する。 ・調査書の作成にあたっては、本 校のマニュアルに基づき、複数に よるチェック体制を確立し、作成 ミス等を未然に防止する。	・入学者選抜については、採点・点検にお いて十分でない部分があったため、更なる 取組が必要である。 ・成績処理にあたっては、教科と教務グル ープが連携し、成績処理マニュアルに基づ き、十分な打ち合わせ・確認を行い、複数 によるチェック体制を確立し、一斉点検の 時間を設けるなど確実な点検を行った。 ・調査書の作成にあたっては、教務グル ープと進路支援グループ及び3学年が連携 し、十分な打合せ・確認を行い、複数によ る確実な点検を行った
個人情報等の管理、 情報セキュリティ対 策(パスワードの設 定、誤廃棄防止)	個人情報の漏えい及び紛失を未然に 防止する。	生徒の個人情報は原則として校外に持ち出 さない。やむを得ず持ち出す際は、個人 情報持ち出し許可願いを提出し、許可を得 ることを徹底した。 生徒・保護者等の携帯電話番号・メールア ドレスを収集するときは、必ず文書による 承諾を得る。また、収集した情報を記録し 持ち出すときは、個人情報持ち出し許可 願いを必ず提出し許可を得ることを徹底 した。
交通事故防止、酒酔 い、酒気帯び運転防 止	交通事故の発生を未然に防止す る。 酒酔い、酒気帯び運転を未然に防 止する。	車の運転時は平常心を保ち、余裕をもつて 運転する。また、安全確認を怠ることがな いように注意喚起した。 酒酔い、酒気帯び運転については12月に「飲 酒運転の根絶」を配付し、一人ひとりの職 員が主体的に考えるよう指導した。

業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	業務遂行体制の充実を図る。	職員が一人で業務上の困難やストレスを抱え込むことがないように、支えあって協働する同僚性を醸成し、気にかかる職員には、積極的に声掛けをし、風通しの良い職場作りを心掛けた。
適正な経理処理（私費会計処理）	私費会計に関する不祥事の発生を未然に防止する。	令和3年1月財務事務調査結果を周知するとともに、私費会計について適正な処理をするよう、職員全員に指導した。
定期テストについての事故防止について	定期テスト問題作成、点検、実施及び回収、実施後の受け渡し等チェック体制を確立し、出題ミス等を未然に防止する。	定期テスト問題作成上での問題のチェック、点検後の保管について所定の手続きをとり確実な点検を行った。 定期テストの実施についての監督及び実施後の担当への解答用紙の受け渡しは、所定の手続きに従い、確実に実施した。 定期テスト採点及び採点後の返却及び採点確認について所定の手続きをとり、確実に実施した。
保護者対応に係る事故防止	社会環境の変化、家庭環境の複雑化等、学校を取り巻く環境が変動している中で保護者とのトラブルを未然に防止する。	学校の指導に対する保護者の意見・要望に対する対応方法、保護者と連携した生徒の課題・問題への取組み方、家庭の問題への学校のかかわり方等については、職員間の情報交換等を的確に行い迅速・適切な対応を心掛け、信頼関係や協力関係を促進した。

○ 令和2年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和3年度に取り組むべき課題

（学校長意見）

- ・行動計画については、概ね目標を達成することができた。
- ・令和3年度実施令和4年度入学者選抜については採点及び点検業務について検討を行うとともに、現行の採点及び点検業務について検証し、確実に入学者選抜を実施する。
- ・公務外非行防止、セクハラ・わいせつの防止、不適切な指導の防止、成績処理・進路関係書類の作成・取扱いに係る事故防止、情報セキュリティ対策、交通事故防止について引き続き取り組む。